



# 第二ぎんなん便り

社会福祉法人  
熊本市手をつなぐ育成会  
第二ぎんなん作業所  
平成29年8月29日  
第375号

施設長

井芹 靖成



今年は、例年より「猛暑」という言葉をよく聞いたり、私も話の中で使うことが多かった気がします。農場や受託作業（除草作業）でも、暑さのあまり、水筒だけでは足りずに、何本もペットボトルを買い足したりして、熱中症対策をしました。まだまだ残暑の様子ですが、早く涼しくならないかと期待しています。

先日、NHKの「発達障害」の特番がありました。番組の中で発達障害の本人さんが思いを語られていました。その方は、社会の中で大多数の方（健常者）の「普通」を発達障害の私たちに求められるととてもつらいです。何とか大多数（健常者）の「普通」を演じることはできますが、その「普通」を理解できないまま演じています。私の「普通」ではありません。と語っておられました。本心だなと思いました。きっと、自分の「普通」で生きていけると、とても安心で、楽しい人生を送ることができるのかと思いました。人はいろいろな感じ方、考え方、思いがあります。それをお互いが理解し、助け合い生きていける社会が必要になると思います。今は以前に比べたら、障がいそのものの情報が多く流れ、社会の理解が進んできているとは思いますが更に、生活しやすい社会になるように、できるところから取り組みたいと思います。

## 【手をつなぐ育成会県大会】

7月29日（土）に熊本県手をつなぐ育成会玉名郡市大会が、ながすみらい館文化ホールで開催されました。第二ぎんなん作業所の利用者、保護者の方と職員も参加しました。当日は作業所に集合し、作業所のワゴン車等に乗合わせ、そろって出発し、約1時間ほどで長洲町に着きました。

開会式後は、利用者の方は本人部会（ゲーム、ものづくり体験）への参加になりました。午前中は手遊びやゲーム、リズムダンスに取り組みました。初めて出会う人が多く、緊張されていたようですが、体を動かし緊張もほぐれてこられたようでした。午後はものづくり体験が用意されていて、木を使った金魚のくるまや円形木琴作りをされました。短時間でしたが立派な木工品を完成されていました。いいお土産になったようです。

保護者、職員は中央情勢報告の方に参加しました。全国手をつなぐ育成会連合会政策センター委員の又村あおいさんから最新の情報をお話いただきました。今後、大きく変わるであろう障害者福祉サービスの制度改革について説明いただきました。国の方向性の最新情報を聞くことができ有意義な1日になりました。

帰りには横島の道の駅（YBOX）で買い物によったりして楽しい1日を過ごしました。



①開会式参加  
（ながすみらい館）



②本人部会  
（ものづくり体験）



【農作業の紹介】

作業所の仕事の一つに農場での作物作りがあります。農場は作業所から離れたところ（県運動公園の近く）にあり、農作業がある日（月曜、木曜）は、ワゴン車で約30分をかけて移動します。途中でお弁当を買ったり、好きな飲み物を買うのも利用者さんの楽しみの一つのです。

春にはタマネギ、ニンニク、ジャガイモを収穫し、現在は、ピーマン、ナス、落花生、里芋、カボチャを栽培しています。午前2時間、午後1時間半位の作業時間です。耕運機をかけたり、植え付け、収穫、除草作業をしています。それぞれ自分のできる作業を決めて取り組まれます。耕運機が得意な利用者さんもおられ、いつも農場をきれいに耕していただいています。収穫作業が好きな方もおられ、丁寧に収穫し、出荷しています。

お昼は運動公園の休憩場でみんなで食べています。昼食後はゆったりとすごしたり、近くの日本庭園を散策したりして過ごされています。

暑かったり、寒かったりしますが、やはり広々とした自然の中で、ゆったりと仕事ができるのは、農作業ならではの楽しみです。



①農場

運動公園のそばに広い農場があります。みんなで作業をして管理しています。

②作業中

耕運機かけ、除草作業中です。それぞれ得意な仕事をしています。



③収穫

ナスの収穫の様子です。最近では、農作業日には毎回収穫作業があります。

【冷たく、おいしいかき氷】

今年の夏は猛暑続きでしたが、その暑さを吹き飛ばすように、リフレッシュタイムのゲーム大会の後に、かき氷を作り、みんなで食べました。作業所にある本格的なかき氷器を使い、職員が氷を削ると、後は利用者さんが自分の好みのシロップを選び、氷にかけて食べました。中にはおかわりをする利用者さんもいて、暑さを吹き飛ばされていました。



① 開店

「氷」のぼりもさげて本格的なかき氷屋さんの開店です。

② 冷たいです

冷たくておいしいです。暑いのですぐに食べてしまいます。



【新しい仲間を募集しています】

現在、第二ぎんなん作業所では、定員に空きがあります。和気あいあいとして、温かく細やかな支援が自慢です。昨年の保護者アンケートで「通わせてよかった」という回答が100%であったことがその現れだと思えます。もし、これから就労継続支援B型事業所を利用したい、または、関心がある方は、ぜひ一度見学、体験をされてみませんか。お待ちしております。